

職場での **転倒** にご注意ください！

転倒予防のために 適切な「作業靴」を選びましょう

陸上貨物運送事業労働災害防止規定では、第5章安全基準 第1節 通則の8 安全な履物に“作業に応じ、安全靴その他履物を使用させること”とあり、第2節 貨物自動車等の積下し作業の7 転倒防止措置では、“荷役作業場所等に合わせて、**耐滑性、屈曲性のある安全靴を使用させること**”と明記しており、耐滑性能の重要性を示唆しています。

転倒は、状況によっては**転落・墜落**につながります。安全靴やプロスニーカーは、耐滑性能の有無が確認できるようになっていますので、作業環境に合わせた靴の選定が重要です。

■ 転倒が発生する状況 転倒が起きうる状況によって、靴を性能で選びましょう

(例)

・荷物の仕分け作業中、作業スペースにものが多いとすべりそう

・荷台からの荷卸し作業中、荷台が濡れていて滑りそう

・運転席から降りるとき、凍結した路面で滑りそう



■ 作業中に重量物を取扱

安全靴やプロスニーカーを着用して

下さい。



■ 作業環境をチェック

床の材質や形状・状況で、転倒対策が必要になります

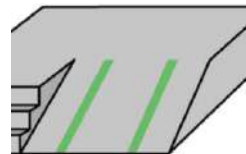
(材質例)

- ・コンクリート
- ・Pタイル
- ・金属



(形状・状況例)

- ・床面が水・油で濡れている
- ・凹凸がある
- ・傾斜がある (スロープ等)

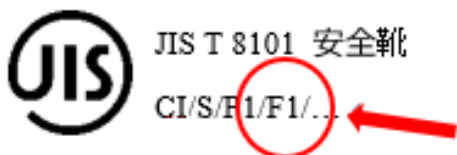


耐滑性の有無

耐滑性を有する靴は、以下の箇所で確認できます。

■ 安全靴の場合

個装箱や製品のJISマーク表示の近くに「F1」または「F2」の表示があるか確認してください。



■ プロスニーカーの場合

靴のべら裏面の表示に、耐滑性のピクト表示があるかを確認してください。

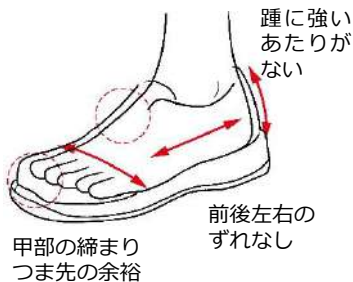


「靴」を選ぶ時の注意点

サイズ

靴と足はフィットしていますか？

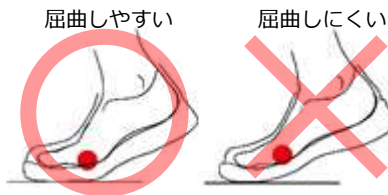
足に合った靴は疲労の軽減、事故の防止につながります。



屈曲性

親指から小指の付け根を適度に曲げられますか？

靴の屈曲性が悪いと、疲労の蓄積、擦り足になりやすく、つまずきの原因となります。

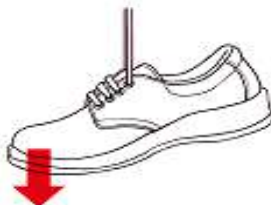


重量バランス

極端に靴が重かったり、つま先に重量が偏っていませんか？

靴が重かったり、つま先部に重量が偏っていると、疲労しやすくなり、歩行時につま先部が上がりやすく、つまずきやすくなります。

<革製安全靴の場合の重量バランス確認例>
紐をもってつるしたとき、つま先が極端に重いと靴が大きく傾きます



<プロスニーカーの場合の重量バランス確認例>
爪先が重いと振ったときに反動が大きくなります



つま先部の高さ

つま先から床面まで一定の高さがありますか？

つま先の高さが低いと、ちょっとした段差につまずきやすくなります。

つま先が高い つま先が低い

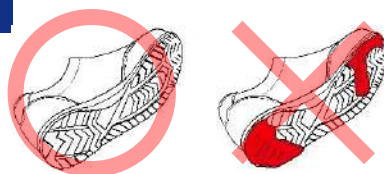


靴底の減り具合

靴底がすり減っていませんか？

靴底の減りが大きい靴は、滑りやすくなり、足の内転・外転を起こしやすくなります。

靴底の凹凸あり 靴底の凹凸が減少



その他の性能

耐滑性のほかにも様々な機能があります。必要に応じて選びましょう。

■ 静電気帯電防止性

静電気帯電による放電着火の防止と低電圧での靴底からの感電防止性能

<安全靴の場合> | <プロスニーカーの場合>
個装箱・製品のJIS | ベロ裏に
マーク近傍に「ED- | 右のピクト
P」や「ED-O」表示 |



■ かかと部の衝撃エネルギー吸収性

かかとのクッション性に関係し、かかと部の疲労防止性能

<安全靴の場合> | <プロスニーカーの場合>
個装箱・製品のJIS | ベロ裏に
マーク近傍に | 右のピクト
「E」・「P1」・ |
「P2」・「P3」表示 |



■ 耐踏抜き性

釘などの鋭利なものから足裏を防護する性能

<安全靴の場合> | <プロスニーカーの場合>
個装箱・製品のJIS | ベロ裏に
マーク近傍に | 右のピクト
「P」・「P2」・ |
「P3」表示 |



さらに詳しく知りたい方は、下記URLをクリックしてください。

安全靴のことなら...

日本安全靴工業会
Japan Protective Footwear Manufacturers Association

URL : <http://www.anzengutsu.jp/index.html>

プロスニーカーのことなら...



日本プロテクティブスニーカー協会

URL : <http://www.prosneaker.jp/>

※「プロスニーカー」は、公益社団法人日本保安用品協会の登録商標です。